

西新宿七丁目町会

青年部ニュース

No.36

部長挨拶

一年を振り返って

石川 謙 一

早いもので、十月の青年部総会を持つて、私が青年部長になって一年になります。西新宿七丁目青年部の年間事業を振り返りますと、総会に始まり、役員交歓会、十二月の防火防犯パトロールの協力、新年会、スキー同好会、六月のレクリエーション、七月の旅行同好会、八月の子供縁日、そして、仲睦の大祭への参加、又、近隣青年部との年二回のキックベースボール大会、淀橋中学でのビーチボールバレー大会、

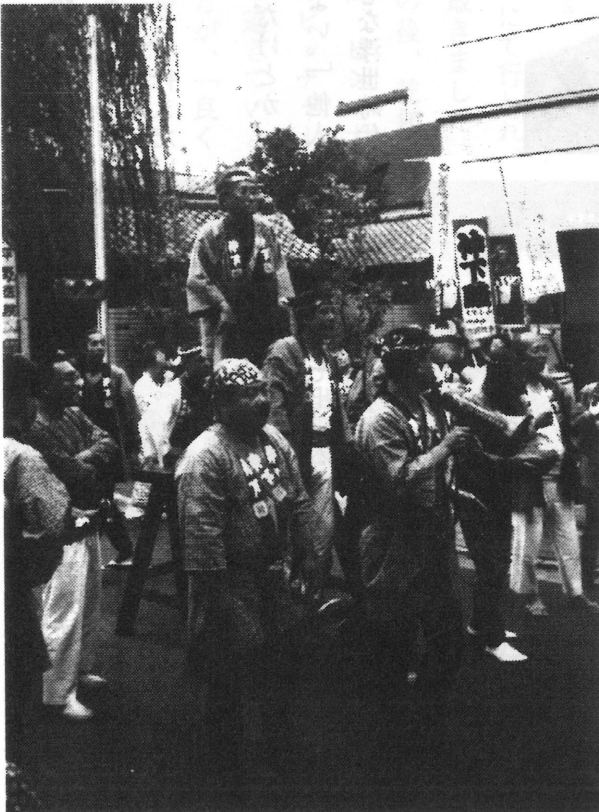
十一月の区民レクリエーションへの参加、町会や他部会の総会、新年会、花見、レクリエーション……。思えば「アッ」という間で、何もない月はないでしょうか。

ほんとうに早い一年であり、この青年部ニュースを書いている時になつて始めて振り返る有り様です。

さて、青年部内においても、新入部員の入部と共に、若い部員達の活躍が目覚ましい一年であり、私自身、多いに部員達に助

けられた楽しい一年でありました。又、これも青年部に対して、いつも暖かい思いやりで御指導、御協力をして下さる、町会・役員など他皆々様のお陰と思います。ありがとうございます。そしてこれからも、より一層の御協力をお願い致します。

さて、私も残り一年の部長としての任期を、我が愛する青年部と、次期を担う青年部員と共に頑張りたいと思います。



新入部員挨拶

社会貢献

染谷 英男

初めまして、新しく入部させて頂きました染谷英男です。

私が入部するきっかけとなったのは、自分なりに何か社会貢献できる事は、ないだろうかと考えており、新宿警察署・少年第一係長 遠藤警部補に相談した所、青年部を薦められました。

青年部に入部し、早くも数カ月がたち、生まれて始めての神輿もかつぐ事ができ、とても感激しております。又、私は今まで何度となく引越をして来て、地域の人との交流があまりなく、ここに来て人とのふれ合い、助け合いの心の大切さを痛切に感じています。

これからの青年部に期待し、行っている希望は、今までの伝統的な事はも

ちろん、今、社会問題になっているゴミ問題、治安問題の事などを取り上げて地域で解決できるよう計って行きたいのです。

今の世の中、「自分だけとか、自分の家族さえ幸せならばよい。」他人に関してはあまりにも無関心な浮世時代。ゴミ



は清掃局、治安は警察任せておけば良いと言うように、あまりにも他人任せ。すくなくとも、もう少しは我々の手で何かできるのではないのでしょうか。その為には、今まで以上に地域内でのコミュニケ

ーションを取り、隣り近所と挨拶を交わして行くような町作りを考えてみたいものです。「これからのモデルCITYとして：」「時代を先導して行くような町作りを！」新宿区に住んでいる我々だからこそ出来るのではないのでしょうか。今の子供達の為に、未来の世の中の為に、一人一人が責任と義務をもっと自覚し、意識を高く持って、生きる事の意義を問いて行きたいものです。

この気持ちで青年部の活動をして行きたい所存であります。以後、宜しくお願いいたします。



新年会

ユニカール大会

清水 孝

平成八年度西新宿七丁目町会青年部の新年会は、ユニカール大会よりスタート致しました。

「ユニカール?」「何それ?」役員会でも知らない人が半数以上。そこで、役員会の会話をそのままに...

役員A「氷上でやるカーリングを人工芝を敷いてやるんだよ!」

役員B「俺、それ知ってるけど、変な球?の前を、ほうきを持って掃くのはやだなあ!」

役員C「そんなカッターイなら俺行かない。」

役員A「ユニカールは投げるだけで、ほうきで掃かなくてもいいの!」

役員BC「ふーん。」

さて、淀橋第一小学校にて、大人と子供に分かれて、いざユニカール大会。三人一組でチームを作り、チーム名は自由にとの事。「ドンキーコングチーム」や「ぷよぷよチーム」など、ゲームから取ったチーム名が多かったと思います。私が審判をした子供の部では、我が家の翼と航の二人と、石川青年部部長の娘さんの薦ちゃんチームが三位に入賞したのが嬉しかった。

懇親会は「白札屋」にて行われ、大勢の方のご参加を戴きました。お偉い方々のお言葉の後、乾杯、ユニカール大会表彰式、ビンゴ大会と続き、生ビールのピッチャーが何杯も目の前を通り過ぎていきます。店の従業員のの方が、「良くあれだけ飲める。」と、感心していたとか...

今年も青年部のパワーは、とど

まる事を知りません。この後に控えているレクリエーションや、縁日がとても楽しみな一年のスタートになりました。



レクリエーション

潮干狩り

石川 時義

今回のレクリエーションは、青年部の役員がいろいろの候補の中から厳選し、しかも意見が一致した場所でした。それが船橋の海浜公園です。

新宿から一時間で潮干狩りや温水プール、釣りなどができるというので家族連れにもってこいです。潮干狩りは小学校以来で何十年も昔の事で、実に楽しみです。案内のプリントを配ると、同じ思いの人が多かったらしく、最近に無く何とバス三台という大勢の人が集まってしまいました。こまるやら、断ることもできず準備で頭を悩ます事になりました。百人以上もの食料、バーベキューの用意、場所の確保、ものすごい量のビール、酒氷と子供のお菓子、潮干狩り用の熊手、網の手配と…。



六月十六日、日曜、晴れ、下見の時の係員の話とは大違いの大混雑、まずやつとの思いで百人以上の人が座れる場所を確保しシートを敷く、当然バスの駐車場からかなり遠くである。汗だくになりながら、いろいろの食材やコンロと青年部部員、町会の人みんなで運んでくれました。

た。その内に、めんどくさいやら、大変やらで車輛通行止の道を無理矢理に人をかき分け入っていった無事に設営完了。コンロ、ブロック、食料などを持って行く為にトラックを用意しておいたのも大成功でした。休む暇もなく役員はバーベキュー、昼食の用意、お酒、熊手、網配りと大忙しである。六月にしては、ものすごい暑さで日頃あまり日に当たっていない人が多く、取って来た貝の網をそこらに置いて、シートに車座になつてビール、酒を飲む人が実にうまさうで、楽しそうに見え、私達の苦労も報われた思いがします。子供達や町会のみなさまも大変喜んでくれたと思います。

今回役員は楽しみにしていた貝取りは誰もできませんでしたが、ザンネン。来日もまた是非参加して下さい。青年部員みんなでガンバッテ、やります。

スキー同好会

第二回バスツアー

大塚 康弘

一週間前から天気予報に釘付け、「あーこれは…」いつもは当たらない気象庁の予報が三月十七日に限って大当たり！夜明け前からあいにくの雨である。「この雨じゃ皆さんドタキャンかな？」などと思いつつ集合場所の常泉院に行ってみると、これまたビックリ。この雨をものともせず、いるわいるわスキーキチの皆さんの顔、顔、顔。しかし、ちと様子がおかしい。「スキーキチの皆さんの顔、どこことなく恍惚状態だね。」そうです、スキーキチの心は、すでにザイラーバレースキー場へと飛んでいたのです。コブ斜面、中斜面、緩斜面をスキーキチは、常泉院の前ですでに…。

さて、コンディショニングは、あまり良

くないスキーツアーでしたが、第一回の時より皆さんの足前も大きく上がり、又、今回初めてという方も多数参加して頂き、スキー同好会も一回り大きくなった様に感じました。夜明けの常泉院前で拝見した、スキーキチの悲しい『サガ』、これさえあれば、スキー同好会は永遠に不滅でしょう。



旅行

旅は道連れ

滑川 豊 敬

「月日は百代の過客にして……」の書き出しから始まる松尾芭蕉の「奥の細道」の随筆文を頭の片隅に描きながら、いざ青年部の旅行同好会の旅が始まってみると、すぐに頭の中は「月日は百代の過客にして……」から「旅は道連れ世は情け……」の浪花節調にすっかり変わってしまい、「長いものには巻かれろ」ってな調子で始まったのであります。

さて、本題の伊勢神宮は天照大神の鎮座地ですが、歴史的にみますと大和朝廷が東国へ勢力を発展させる基地とされています。ただ実際に歩いてみると政治の中心、いわば大和の国に指令を出す場所なのでありますが、鬱蒼とした木立に囲まれ、（いまはさほど綺麗ではないが、観光客が多いせいかもしれない）さらさらと流れる五十鈴川。こんな自然のなかに永田町を持ってきたら行政改



革、消費税と騒いでおられる政治家の方々、おいしい空気を吸って頭の中がリフレッシュして今の日本の政治がもっと良くなりますかな？
最後に、学校の勉強でしか知らなかった日本の歴史の始まりの地を満喫し、そこで不徳にも大宴会をした青年部の旅行、思い出に残る旅行の一つでありました。

【人生すべて勉強】

西新宿7丁目町会青年部 平成9年度収支計画書

自 平成8年10月1日
至 平成9年9月30日

収入の部		支出の部	
費用	金額	費用	金額
前期繰越金	155,753	総会費	480,000
部費収入 (6,000×76名)	456,000	厚生費	1,530,000
特別会費・縁日売上	1,550,000	会場費	50,000
町会補助金	320,000	印刷費 (青年部ニュース)	150,000
		事務通信費	30,000
		交際費	250,000
		予備費	161,753
合計	2,481,753	合計	2,481,753

キックベース

七丁目チーム最下位脱出！

永嶋 靖 久

青梅街道を挟む西新宿各町会青年部が、交流と親睦をはかろうという目的で結成された「トライアングル会」主催の第三回キックベースボール大会が、四月十四日（日）、まだ桜の花も残る北新宿公園にて行われました。

第一回大会優勝の「一新会チーム」を、みごとに若返ったチームで敗り、第二回大会を制した「八丁目チーム」をはじめ、各チームが気合いを入れる中、わが「七丁目チーム」は、勝利への使命感から開放されているのか、ほとんどお花見気分のまま、ビールを飲みながら、競馬の予想に話を咲かせ、試合に臨んだのでした。
第一試合、「連合チーム（西新宿にある銀行員さんの混合チームです）」に四対二と完敗。
第一回大会から通して、まだ一勝もあげていない「七丁目チーム」としては、

このままでは町内の方々に合わせる顔がないと思ったのか、それとも、酔いから醒めてきたのか、第二試合では大奮起。吉住、萩原、両新入部員の活躍もあり、五対四と「四丁目チーム」に辛勝。最下位脱出に成功したのであります。
このことは胸を張って（？）町内の皆様に御報告申し上げたいと思います。
試合後の打ち上げは、一新会さんのお世話で、思い出横町の「きくや」さんが用意され、御店主の好意によるふんだんな料理に舌鼓を打ちながら盛り上がったことは言うまでもありません。
最後に一言お願い。
高齢化問題をかかえる七丁目青年部チームの課題は、やはりチームの若返り。若い皆様の今後の参加をよろしくお願い申し上げます。



西新宿7丁目町会青年部 平成8年度収支計算書

自 平成7年10月1日
至 平成8年9月30日

収入の部		支出の部	
費用	金額	費用	金額
前期繰越金	94,297	総会費	614,991
前期繰越金	723,909	厚生費	2,076,720
部費収入	225,000	会場費	54,000
部費収入	225,000	印刷費	32,285
部費収入	228,000	事務通信費	163,000
部費収入	201,478	交際費	10,000
部費収入	269,500	予備費	80,000
部費収入	93,990		155,753
部費収入	893,000		
部費収入	320,000		
部費収入	75		
部費収入	137,500		
合計	3,186,749	合計	3,186,749

縁日

焼きそば

渡辺望博

八月二十五日に今年も年に一度の縁日がありました。晴天の中、大勢のお手伝いの人達と朝の九時から柏木公園で縁日の準備をしました。

自分の担当は焼きそばです。みんなバレーキュー気分、鉄板をのせる土台を作ったり、キャベツを切ったりとワイワイガヤガヤ準備をします。準備が出来るとまずは、ためし焼きを一度します。しかし、焼き上がるとおなかをすかせた人が集まって来て、アツというまになくなってしまい二度、三度と焼かれます。

最初はさもなく焼いていた人が三度も焼くと、鉄べらもリズムカルに動くようになっていきます。そうこうしているうちに、すぐに十二時になって公園に子供達も大勢集まって来て、新宿警察署の人のお話が終わると子供も大人も色々なお店に集まっていきます。一時を過ぎると

焼きそばも列が出来てきて、終了の三時まで焼きっぱなしになります。

本当に大変な仕事ですが、終わった後にはものすごく頑張ったという充実感がわいてきて、一日を大変有意義に過ごせたと思います。また縁日に参加したことのない人も気軽に手伝いたいと言えば、お願いしますと声が返ってくると思いますので、みなさんもぜひ参加してみてください。最後にお手伝い頂いたみなさん、本当にありがとうございました。



縁日寄付者

滝良貞、中村保信、小林孝一、小林正典、池田公保、小林佳直、佐藤豊、尾沢孝宣、半田弘、山崎正行、近藤隆二、喜代美、清水孝、渡辺昭治、石田和雄、石川慶太郎、佐藤昌之、阿部うた、宮島右近、川原康之、渡辺勝栄、商店会青年部、ヘアーサロン前山、石川謙一、笹生栄一、(有)前波商店、浅井憲龍、西新宿一丁目青年部、川村勝、林一夫、森井光義、嶋村好彦、鈴木康夫、福田典義、中野正徳、新井正夫、川口商事、加賀谷良平、村上暢子、上野勝夫、新宿広小路会、新宿広小路青年部、井西将夫、春日一郎、河野洋寿、林正誠、丸山博朗、小野沢富士雄、会田友太郎、小嶋茂、桑原初美、桜井聖明、西新宿八丁目青年部、畑春松、高柳卓三、田中直久、若山直義、吉川欽章、十二社神輿同好会、成子町会、佐々木憲一、林田秀雄、鈴木松夫、土屋三郎、小玉ランドリー、ティップネス新宿、西新宿一都会、樋坂紀幸、小笠原幸徳、西新宿六丁目青年部、渡辺望博、小林六郎
(順不同、敬称略)

毎回多額の御寄付、本当にありがとうございました。
青年部一同

祭礼

大暴風雨

笹生 慎一郎

今年も祭礼の季節がやってきました。ましてや、今回は、四年に一度の大祭とくれば、仲下睦の盛り上がりは、押して知るべしでしょう。私自身、去年から楽しみで、楽しみで、ところが大変！設営当日は、台風十七号による大暴風雨！作業開始予定は、夕方五時からとなり、先行き不安な出だしとなつてしまいました。(大丈夫かな...)しかし、六時頃には、雨風もすっかりおさまってしまい、皆さんホロ酔い気分での設営となりました。これも日頃の行いの良さでしょう。(?)作業も思った以上に順調に進み、翌日の渡御に向けて、万全の体勢が整いました。

さて、いよいよ御神輿です。昨日の台風が嘘のような天気(ちよつと暑すぎるかな、くらいの天気でした)午後十二時半、いよいよ渡御の開始で

す。最初から、かなりのハイペース(最後までもつのかしら...)「ワッショイ！ワッショイ！」の素晴らしい声と共に高層ビルの間、青梅街道を進む御神輿！

午後三時

過ぎからは、神輿も、それぞれの各町会へと分かれて行きます。これからが大変、各お休み処では、皆様の御好意による、酒、食事の大盤振舞！



話になりました。ありがとうございました。
のカラオケも大成功、とにかくバンザイ！

西新宿七丁目に生まれて良かった！

西新宿七丁目のあれこれ

第三回

『淀橋』

編集部

私達が卒業した淀橋第一小学校、淀橋中学校も来年でなくなってしまう。非常に残念です。子供のころ校庭で遊んだ事や同級生の事がフット思ひ出されます。そんな時、「淀橋」何十年も聞き慣れた言葉ですが、「淀橋」って一体何なの？学校の名前や企業名、まして今では残っていませんが、地名にもなっていました。（昭和七年、落合町、戸塚町、大久保町が合併して淀橋区）地名にもなるような有名な橋、でもどこかにあるのか、それとも他に何か？

さつそくこの事を編集部で取り上

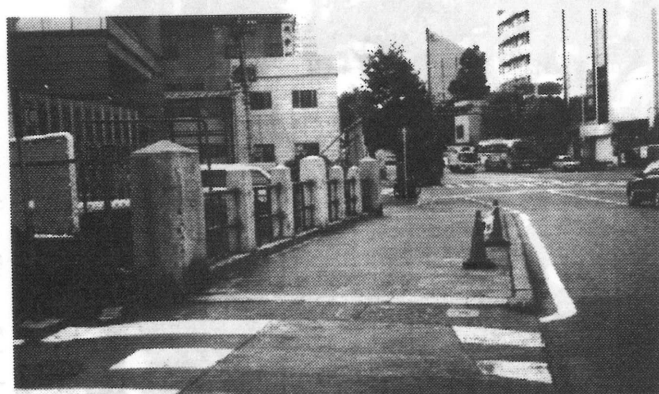
げ、今回の青年部ニュースの西新宿七丁目のあれこれのテーマにしてみました。

「まずはどこから調べようか。」

「町会の先輩の方々に聞いてみよう。」

「図書館で調べてみよう。」

等と、さまざまな意見がでしたが、青年部の先輩に聞くと神田川に架かっている橋が「淀橋」との事。名前の由来など、それ以上の事は知らないと、ありました。早速、地図を広げてみると、大ガードから成子坂方面に青梅街道を下っていくと、神田川にぶつかります。そこに確かに「淀橋」とかいてあります。後日、編集部員はカメラ持参で現地へ飛んでいきました。確かに橋が架かっていますが、車にのって走っていたら、まったく気づかずに通り過ぎてしまいか、ボー



現在の「淀橋」

工事が分かりませんが、大きな看板で神田川の右の方が隠れて見ることが出来ません。

と歩いていたら橋の存在すら気づかないでしょう。ましてや現在、何の

「そんな有名なの？」

「この橋なら知ってたヨ」と、チョット落胆。特別立派でも綺麗でもありません。何か言い伝えでもあるのかと、そのへんに案内板でも立っていないかと調べてみても、何も見当たりません。ただ良く橋を見ると、ひらがなで「よどばし」、その下に「大正十三年」と刻まれていました。現地では、それ以上の事は分かりませんでした。

二、三日後、編集部員全員での議論のすえ？、地名にもなるからには、何かある。何か伝説とか、言い伝えとか必ずあると確信に満ちて、図書館へと急行しました。調べて分かったのですが、「淀橋」には不吉な伝説が残っていたのです。

今からおおよそ六〇〇年前、今の中野区本町二丁目あたりに、鈴木九郎という大変大金持ちがいました。どうして儲けたか詳しい事は分かりませんが、一つには、やせ馬を馬市で売って大儲けしたらしい…。この鈴木さんは中野の開拓者という

意味の中野長者いわれ、広い土地と大きな屋敷を持ち、大勢の使用人を使っていた。金持ちには金持ちの悩みがあったんでしょう。今でいう銀行などは、たぶんない時代。莫大な財産を家においておけば、ドロボウに狙われる。さて、どうしよう。あつ、そうだ。目だたない場所に埋めてしまおう。早速、実行にうつしました。この候補地に上がったのが、今の熊野神社あたり。鬱蒼とした森だったのでしょか。夜中に使用人を何人か連れ、中野から今でいう「淀橋」を渡って、熊野神社あたりに埋めました。これで一安心、後はこの事を知っている一緒に行った使用人を始末するだけ…。そうしてこの中野長者さんは、帰りに使用人を殺して神田川に捨ててしまったのです。村人か誰かが、橋のたもとでこのことを見てたんでしょう。行きには使用人がいて、帰りには見えなかった。この事が噂になり、この橋を「姿見ず橋」と呼び縁起の悪い橋という事になりました。

そんな事から約三〇〇年後、この橋の近所に三代將軍家光が鷹狩りに来て、そして橋の北側の水車小屋で休息をした時です。

「この橋の名は？」

「というような話がでたんでしょう。それで、こうこうこういう伝説がありますと話すと。」

「不吉な橋だ、京都の淀川に似ているから淀橋とあらためよ。」

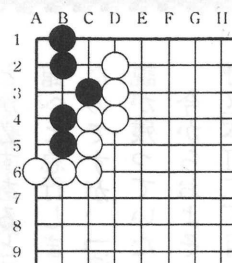
ということ「姿見ず橋」から「淀橋」へと改名されたわけです。まあ、將軍様の一声であつたわけですね。（しかし、つい百年くらい前まで婚礼時にはこの橋を渡らない風習が続いていたらしい。）

調べてみると、橋一つ取り上げて色々な伝説や言い伝えが残っていました。ハイテク社会といわれる現在、何かと忙しい時代ですが、地元の歴史や伝統にふれてみたり、調べてみたりして、次の世代へと語り継いで行くことも大切な事ではないでしょうか。これも大切な勉強の一つだと思います……。

■出題 土屋三郎

○死活の問題 黒番
どう打ちますか

○持駒 銀
七手詰



今年度の行事予定

十一月 キックベースボール
十二月 忘年会
一月
二月 新年会
三月 スキー同好会
四月
五月
六月 レクリエーション
七月 旅行
八月 縁日
九月 祭礼
十月 総会

新入部員紹介

2B 染谷 英男 会社員

西新宿七一二十二―十九
昭和三十八年七月十七日

2B 高野 清二 会社員

西新宿七一二十二―七
昭和三十年十二月十日

6B 萩原 淳 会社員 (ティップネス)

西新宿七一―一
昭和三十六年七月六日

6B 内田 光昭 ステーキハウス内田

西新宿七一十一―九
昭和三十九年十月十一日

6B 木葉 充章 鮎どころ木葉

西新宿七一十九―二十一
昭和三十三年六月十六日

編集後記

青年部の行事の中でも中心である縁日、祭礼も大成功の内に無事に終了し、総会を迎える事が出来ました。青年部の皆さん本当にご苦勞様でした。また、町会の皆さん、近隣町会の皆様、ご協力ご援助有り難うございました。この場をかりて御礼申し上げます。

また無理を言って短期間の間に原稿を書いて下さった方々、本当に有り難うございました。

次号も、よりいっそう親しまれるニュースづくりを目指しますので、よろしくお願い致します。

編集部一同

